

# 西駒郷だより

NISHIKOMAGOU DAYORI

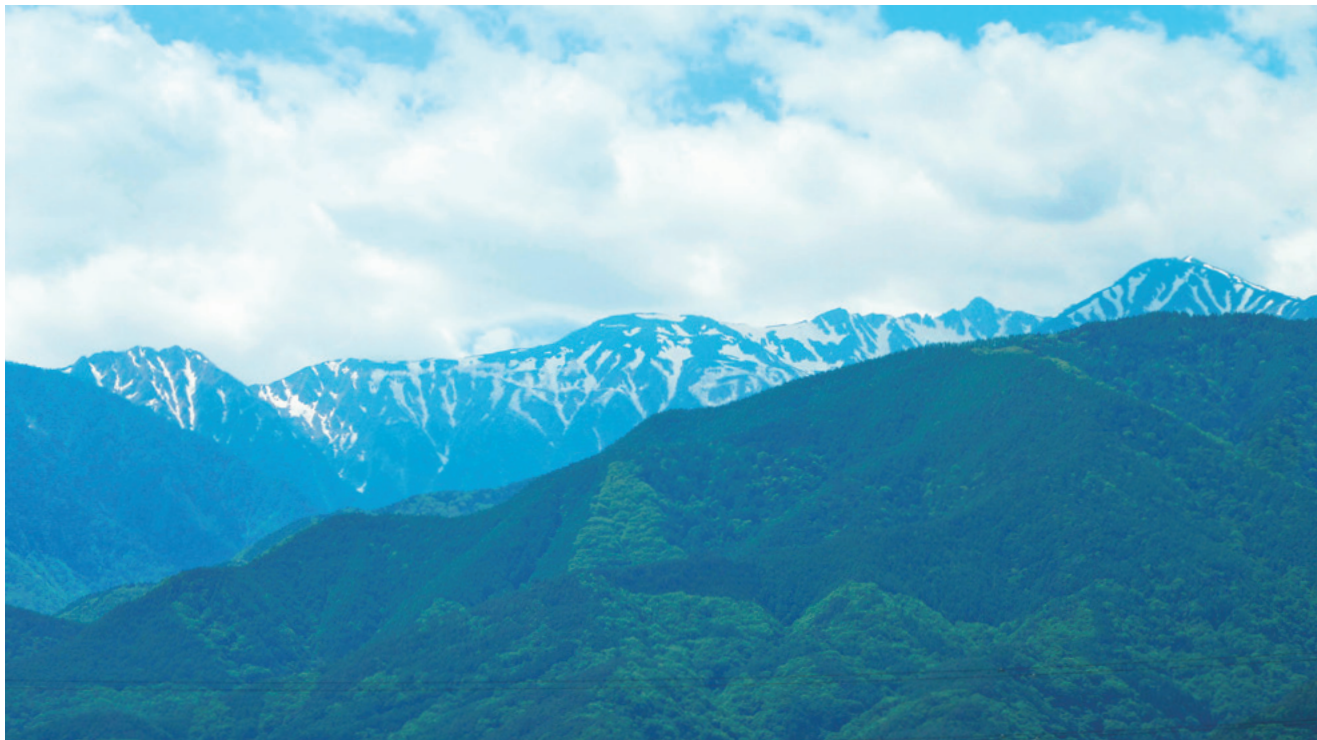
No.154

発行

長野県西駒郷

指定管理者：(社福)長野県社会福祉事業団

長野県駒ヶ根市  
下平2901-7



## 新年度にあたり

西駒郷 所長 塩沢 総夫

新型コロナウイルス感染症の収束が一向に見えてこない中、令和三年度がスタートしました。例年ですと「春爛漫・・・」という書き出しで始まるのですが昨年度に引き続き異様なスタートとなる新年度となっております。

西駒郷においてもこれまでコロナ禍で、利用者が楽しみにしていたイベントなどの中止や活動の制約を行わざるを得ませんでした。

特に、利用者やご家族の皆様に対し帰省や面会の中止、外出の自粛など多くのことに制限を設け大変ご不便をお掛けしてきていることに心よりお詫びを申し上げます。

さて、新年度の始まりですので今年度の事業について触れさせていただきます。

コロナ禍で今までとは取り巻く環境が大きく変わってきていますが、今年度の事業を計画どおりに推進していかねばなりません。その中において、特に重要視しているのが西駒郷整備計画についての結論が出ていないことへの取組みです。ご家族や県民の皆様から「西駒郷の将来はどうなるのか」と不安視される問いかけが多く寄せられています。については、是が非でも本年度内に西駒郷の将来像を明確にできるように努めてまいります。

コロナ禍はしばらく続くと言われていきます。このような中、施設運営する上で、感染防止と事業継続という難しいかじ取りをしなければなりません。

この状況下、今、大きく期待されている一手がワクチン接種です。西駒郷でもワクチン接種が円滑に進むよう関係する市町村と連絡を取っています。

今、しばらくは耐える日々が続くと思いますが、人間の英知をもつてすれば、必ずやコロナ禍を乗り越えることができ、明るく元気な社会を取り戻せると信じてやみません。皆さんとともに頑張ります。今後とも、関係者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

# 更なる利用者支援の充実を目指し

## 令和3年度西駒郷重点事業計画から

令和3年度は第4期の指定管理期間の中間の年度であり、新たに始めた事業を発展させていく年度として位置付けられます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、日中活動をやむを得ず制限するなど利用者への支援が思いどおりにできなかったことや「強度行動障害者」支援の充実を図るため令和元年度から始めた先進地への職員長期研修派遣事業等が実施できませんでした。

そのため、今年度は昨年度に行えなかった事業、研修などを新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら積極的に進めて参ります。

今年度の重点事業としては、昨年度に引き続き、「利用者の排泄ケアの改善」を掲げています。

昨年度は排泄ケアをテーマに専門家を招き研修会を実施しました。

今年度はそれを発展させ利用者の身体の状態や排泄の特徴を理解できるようにアセスメントを

進め、利用者の排泄に関する情報をデータ化し、職員間で情報の共有化が図られるようにします。また、西駒郷を地域の方々に理解していただき、利用者とともに活動をしてもらうために、令和元年度より月1回地域に暮らす障がい者の方が自由にアート活動に参加できるアトリエ

「風と太陽」を開催してきました。少しずつ参加者も増えてきましたが、残念ながら昨年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、年間6回の開催に留まってしまいました。今年度はコロナの状況にもありますが、年間通して開催をしていきたいと考えております

次に、課題となっている、「行動障害者支援」の充実を図るため、令和元年度から外部講師を招き研修会を実施し、昨年度はより実践的な取り組みを行ってきました。今年度も引き続き支援力の向上を目指し研修会を開催することとしています。

(その他の重点事業については、別表参照)

### 令和3年度 西駒郷重点事業計画 (抜粋)

- **利用者の豊かな暮らしの創造**
  - ・自治会活動の活性化、社会参加と地域交流を図るためのクラブ活動の充実
- **ライフステージに応じた一貫性のある支援体制の整備**
  - ・行動障害者支援の強化を図るため、入所支援と日中支援の一体化の推進
- **地域住民の暮らしの充実を図るための地域貢献活動**
  - ・障がい者と共に行う美術のワークショップを従来の小、中学校に加え、高校、大学などへの拡充
- **個々人のキャリアアップによる職場の活性化**
  - ・意思決定支援ガイドラインに基づいた支援の確実な実施
- **IT活用による業務の充実及び効率化**
  - ・利用者と家族との面会のWEBでの実施



## 行動障害支援者研修

～これまでの取り組み～

西駒郷では、令和元年5月から『特定非営利活動法人KUMOO』の野智行理事長を講師に迎え、行動障害の理解と支援についての講義を受けています。初年度は事業所内のよりよい協力体制を目指して所長、部長、課長の管理者にサービスマン管理責任者やリーダーを加えた15名を対象に計10回の研修を実施しました。はじめは「障がい」そのものを改めて理解するために医学モデルや社会モデルの視点に触れ、障がい観というものを学びました。次に西駒郷で実際に生活されている数名の方を対象にして実践形式で支援を学ぶ段階に入りました。受講者もグループに分かれて、班ごとに議論しながら研修を重ねました。障がいの理解をはじめ、ご本人の生き様やひととなりに向き合い、そこに検査や評価ツールを活用して科学的に根拠のあるアセスメントも積み重ねていくことでこれまで以上にご本人を知ることができるようになり、より深い理解のもとで利用者支援がイメージできるようになりました。

令和2年度も前年の内容を引き継ぐ形で13名の支援員が研修を受講しました。西駒郷も障がいの重い方が増え、日々の支援も実際には上手くいくことが多くありません。それもあって昨年度からは『実践すること』に重きを置いた研修としました。事例対象者の行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する演習を繰り返し行いました。当たり前と考えがちな日常生活の中に潜む困難さ不安な気持ち等に対して理解を深めることができました。また、視覚支援をはじめとした【構造化】の有効性も学びましたが、いざ実践するとなるとすぐには上手くいかないこともありました。それでも、研修で学んだ『失敗経験を活かし次の実践に取り組むこと』を続けていきたいと思えます。



これまでの研修会の様子

ここで

### おさらい

#### 『強度行動障害とは』

自分の体を叩いたり、食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど本人の健康を損ねる行動、他人を叩いたり物を壊す、大泣きが長時間も続くなど周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいいます。(強度行動障害者研修資料 センターより引用)



強度行動障害のある方には適切で専門的な支援を行う必要があります。医療を含めた強度行動障害に関する総合的な支援体制を構築することも、障害者福祉施設等の従事者が、専門的な知識や技術を身に付け、本人の生活の質を向上させることが求められています。

## 今年度のスケジュール

今年度も引き続き『行動障害支援者研修』を行いたいと考えています。しかしながら新型コロナウイルスの感染予防の観点からも従来通りの形で研修を実施することが難しい状況が今も続いております。実際、昨年度の研修も中止になったものやリモートに切り替えて実施したものであります。ウェブを活用するなど実施可能な研修方法の模索もしていきたいと思えます。

また、研修内容については今後も支援現場で『実践すること』を一番に考えた内容で予定しています。学びを活かした実践が出来るようになりましたら実践報告会も計画したいと考えています。

今後実践の歩みを止めることなく、行動障害者支援に対する専門的知識と技術の醸成に努めていきたいと思っております。

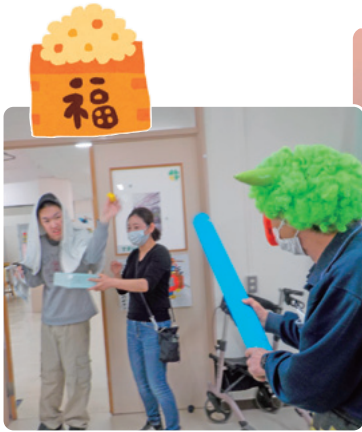


駒ヶ根日中支援課

● 2月3日は節分

鬼に扮した職員が大きな金棒を振り下げ、各部屋を回りました。利用者は新聞紙で作った豆を投げつけてコロナウィルス退治と無病息災を祈り鬼退治をしました。

利用者の中には、勢いよく迫ってくる鬼に負けじと豆を投げる者、鬼が来ても全く動じない者もいました。鬼が退散すると、安心した様子で最後にもらった豆やプリンを食べていました。



● ひな祭り

3月5日にひな祭りをしました。男性職員がお内裏様になり、女性利用者を中心に、お雛様の衣装を着て一緒に写真を撮って楽しみました。和やかな雰囲気です。皆さん笑顔でした。最後にお内裏様より、プリンをもらい皆で食べました。



みんなでお祝い!

成人式

西駒郷での本格的な成人式は8月に予定していますが、駒ヶ根日中支援課のお祝いとして3月9日に小さな成人式を行いました。

今年には西駒郷で3名の利用者さんが成人を迎えました。

当日はお祝いとして各部屋で手作りした色紙を渡したり、利用者さんが成人のお祝いとしてダンスと太鼓を披露してくれました。

3名とも良き成人の日を迎えることが出来ました。



● お花見スタンプラリー

今年例年よりも暖かく桜の開花が早かった為、「お花見」の時期には既に葉桜になっている木もありましたが、散歩やお花見をして楽しめました。

今回は散歩の途中にスタンプラリーを実施。チェックポイントで桜の花びらをもらい、木のイラストに貼って独自の桜の木を作りました。それぞれ自分の作品が出来上がるまで職員に見せたり、飾ったりしました。

散りゆく桜を見ながら春のイベントを楽しみました。





## ひまわり支援課

## 利用者の皆さんに気持ちのいい毎日を

## コンチネンスケアを学ぶ

コンチネンスという言葉を知っていますか？

コンチネンスとは、「気持ちのいい排泄」のことをいいます。気持ちのいい排泄とは、自分の日常での排泄を思い返してみたらイメージしやすいのではないかと思います。出したい時に排泄出来ること、排泄に伴う痛みが無いこと、服が汚れないことなどです。

コンチネンスケアとは、気持ちのいい排泄が出来るように予防・治療・支援すること、排泄の課題を持つ人がその人の望む生活を送られるように質の高いサービスを提供することをいいます。

排泄は、生まれてから死ぬまで続く生理的行為であり、それぞれの発達段階に応じてニーズがあります。そのためすべての人がケアの対象者となります。あなたも私もです！

ひまわり支援課では昨年度からコンチネンスケアの考え方を基に利用者さんの望む生活とは何であるのか？排泄環境はその人にとって適したものであるのか？食事や運動、睡眠状況や排泄状況を確認して、外部アドバイザーの力を借りながら排泄支援のための会議を重ねてきました。



今は利用者さんの排泄アセスメントをとって、それぞれに合った排泄支援を探っているところで、少しずつ効果が見え始めた利用者さんもあり、柔らかすぎる便で全身着替えなければならなかった方が下剤を調整することでパッドにあさまる良い形状の便が出るようになったり、パッドの当て方や種類を変える事で、寝具やパジャマを濡らすずに朝を迎えることが出来ました。



一年間の作業の慰労と、苦楽を共に過ごしてきた異動職員の送別会を3月31日に行いました。

それぞれの班の代表利用者が一年間の思い出と、新年度に向けての抱負を語り、皆で新型コロナウイルス感染症に負けずに頑張ろうと誓い合いました。

最後に異動職員からひとことづつ挨拶があり、別れを惜しむ利用者の姿も見られました。

## 別れは寂しい

職員がコンチネンスケアの意識を持つことにより失禁の多い利用者さんが、トイレで排泄することが出来たりしています。

利用者さんが気持ちのいい排泄ができた時は、利用者さんと職員でハイタッチをして喜びを分かち合います。これは言葉では言い表すことができないほどの大きな喜びがあります。

まだまだひまわり支援課には排泄支援の改善が必要な利用者さんが多くいます。今年度も少しでも利用者さんが望む快適で気持ちのいい生活が送れるように学びを深め、支援をしていきたいと思っています。

## わーく宮田から2題



ながらの作業は大変ですが、中庭がいつも綺麗に保てるよう一年間頑張ります。

毎年、受託作業の一環として行われている長野県看護大学の中庭清掃が今年も始まりました。

春の明るい日差しのもと、当番の利用者と職員とで気持ちよく作業が出来ました。夏の猛暑のなか、また晩秋の寒さに耐え

長野県看護大をより美しく

西駒郷で初めて福祉に携わり、初めは不安な事ばかりでしたが、悩んだ時には助けて頂きながら楽しく働く事が出来、あっという間の7年でした。行事を企画して笑顔で喜んでもらえたことがやりがいでした。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日でも早く解消され、平穏な日々が送れるよう祈っています。これからも体に気を付けて頑張ってください。ありがとうございました。

ひまわり支援課  
浦野 元美



平成7年あすなるの売店でボランティアを行っていました。その頃アカシアホーム自活訓練棟が立ち上がり、平成9年から15年余り早番、遅番を行ないグループホームへ送り出せる自活訓練をしていました。楽しくやりがいがありました。

その後は家族の介護で休職、2年過ぎた頃お声がけをいただき再度西駒郷へ。

支援において利用者さん一人ひとりの個性の把握と状況に応じての対応が必要で1日として同じ日はないと痛感しました。ご縁を感謝に乾杯。ありがとうございました。

駒ヶ根日中支援課 森本 たえ子



グループホームでは見たことのないなにもと言えない笑顔。

好きな仕事を熱心に取り組む姿。喜び一杯の表情など見つける度、とても得をした気分でした。

また、支援に対する様々な見方、発見などもあり、半年程でしたが、多くのものを得ることができました。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

駒ヶ根日中支援課  
堀 玉青



# 皆さん大変お世話になりました

〜退職・転出される方々から〜

みなさん。お久しぶりです。お元気でしようか。  
この度、事業団を退職することになりました。現在は育児休業中ですが、約3年間西駒郷でお世話になりました。  
今も私にとっては職員の方、利用者の方々、環境に恵まれ充実した時間として残っています。  
離れてしまうのは寂しいですが、またいつかどこかで皆さんにお会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

駒ヶ根日中支援課 藤澤 優季



ラグビーの前ジャパンヘッドコーチ、エディー・ジョーンズ（現英ヘッドコーチ）は試合に臨む選手に次の言葉を贈ったそうです。

- ①勇気を持って
- ②試合はカオスだ
- ③遊び心を持って



西駒郷では、常に勇気を持ってカオスな状況に立ち向かっていると思いますが、遊び心も忘れなideてくださいね！

大変お世話になりました。

企画調整課 松田 光弘

昨年度末を持って西駒郷を退職された方、異動された方

- 駒ヶ根日中支援課 藤塚 和裕
- 〃 小林 健太
- 〃 宮下 幸一
- 〃 赤羽 純一
- わーく西駒 赤坂 敏夫
- 〃 伊藤 芳則

利用者の皆様と一緒に過ごした5年間はとても充実した日々でした。大変な時も利用者の皆様の笑顔に何度も救われました。

職員の皆様には今までたくさんのご指導をいただき、大変感謝しております。今後も皆様から教えていただいたことを大切にしてこれからも自分らしく頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。5年間ありがとうございました。

わーく宮田  
小坂 祐奈





初めまして。

利用者さんに合った支援が出来る支援員になるためにたくさん学びながら頑張っていきます。また、利用者さんの生活がより良くなるような活動や支援を考えたいです。

よろしくお願いします。

ひまわり支援課 平田 明海



このたび再雇用職員という立場で、里帰りさせていただきました。嬉しかったのは、大田切川の清流と中央アルプスの雄々しさは当時のままでしたし、何よりも懐かしい方々との再会ができたことでした。

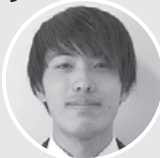
なかには、名前を覚えていてくれた方も何人かいらして感激しております。

企画調整課 田中 君彦



初めまして。利用者さんが安心して楽しく過ごせる様にまずは利用者さんのことを知り、そこから先輩支援員の方と相談しながらよりよい支援方法を見つけていけたらと思います。至らない点がありますが手厚いご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

ひまわり支援課 廣瀬 克幸



初めまして。私は北海道出身です。日本で一番寒い町の隣町で育ちましたが、寒さがとても苦手です。西駒郷は初めてなので分からない事ばかりですが、利用者さんが安心できる支援が出来るよう頑張っていきたいと思います。

よろしくお願いします。

ひまわり支援課 前原 洋子



# 皆さんと共に新しい西駒郷を創っていきます

## ～新採、転入された方々から～

昼食支援でお世話になります。利用者の方に寄り添い、明るく接していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

駒ヶ根日中支援課 青木 なな子



いつも横を通っていた西駒郷

今回、昼食支援としてお世話になることとなりました。

利用者の皆様に寄り添い、少しでも心のこもった支援ができますよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

駒ヶ根日中支援課 小澤 光子



福島県生まれの駒ヶ根市育ちです。

趣味はドライブ、自然の中や街中の路地を散策すること、後は読書です。

最近のマイブームはお笑いを見ることとお香を焚くことです。

福祉関係は初めてですが、先輩方、利用者さんと交わり、たくさんの個性を発見していけたらいいなと思ってます。

さくら支援課 岩瀬 未来



私は、4年前にもすまいる3にいましたので、これで2回目です。当時とは日課等、様々な面で変わっているので、今は覚えることで必死です。早く覚えて動けるようになりたいと思っていますので宜しくお願い致します。

駒ヶ根日中支援課 伊藤 理



右も左もわからず毎日まごまごしておりませんが、早く皆さんの顔と名前を覚えて毎日笑顔で過ごしていけるようにがんばっていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

駒ヶ根日中支援課 黒塚 博美





4月11日、毎春恒例のお花見会が行われました。今年は桜の開花が全国的に観測史上最も早い地域が多かったようで、西駒郷の桜も当日にはだいぶ散りかけていたものの、頑

張って咲き続けている花もちらほら見られました。

お弁当は保護者会からの補助も戴いて、皆で美味しくいただきました。外で食べたい人はシートを敷いてお花見を楽しみましたが、花より食べる方に興味がある方が多いようで、ほとんどの人は寮の中でお弁当やデザートを食べました。

それでも各ブロックでリビングに花を飾り、皆それぞれに春の雰囲気を楽しんでいました。

さくら支援課

3月より暖かい日が続き、今年は桜の開花が早まり4月初めには満開になりました。お花見会も4月5日に開催しました。

当日は、風が冷たく桜の下で行う予定でしたが室内に場所を変更し、レクリエーションを楽しみ、皆でお弁当を食べ、その後桜の下で集合写真を撮りました。

午後は、所内の桜や農園の菜の花、チューリップを見に出かけ、春を満喫した一日でした。

えこ宮田



今年は梅や桜や花桃の開花が例年より早く、4月の初めに寮周辺の桜も散ってしまったため、急遽4月8日に転任職員の歓迎会を兼ねて夜桜見物を行いました。夕食後まず「共楽園」に行き、公園の芝生で持参した、串団子、ケーキ、温かい飲み物を皆で食しました。やはり花より団子：桜の花や異動してきた保科支援員から出されるのQ&Aには上の空で、食べ物と飲み物に気を取られていましたが、皆で語りながら春の宵の空気を満喫でき

ました。その後「光前寺」まで足を延ばし、ライトアップされた満開のしだれ桜や、境内のたくさん桜の花を観て歩き、夜桜が初めてだった利用者は「たまには夜桜もいいね」と笑顔で話していました。夜の幻想的な景色を楽しめたひと時でした。

まつば支援課



3月27日、ひまわり支援課前の桜が満開に咲いていたため、お花見をしました。

例年同様みんなでというわけに

はいきませんでした。数人ずつ順番に、天気もよい中で春の雰囲気を感ずることができたのではないかなと思います。

ひまわり支援課



# 今年も桜は満開だ

…でも楽しみは食べることに

